

T&Dハイブリッド証券ファンド 限定追加型1405

第1期運用報告書（全体版） （決算日 2015年2月20日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2014年5月30日から2019年8月20日まで
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	<ul style="list-style-type: none"> ・コデイス・セキュリティーズS. A. が発行する円建ての「コデイス・リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券」（以下「担保付債券」といいます。）を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。 ・担保付債券の価格は、「リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド（適格機関投資家専用）」（以下「外国投資信託」といいます。）の値動きに連動します。 ・外国投資信託は、世界を代表する銀行および保険会社が発行するハイブリッド証券に投資を行います（ハイブリッド証券とは、企業の資金調達手段の一つで、債券と株式の性質を併せ持つ有価証券です。）。 ・ハイブリッド証券の運用は、リクソー・アセット・マネジメントS. A. S. が行います。 ・原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 ・担保付債券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、組入比率は原則として高位を保ちます。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 有価証券先物取引等の利用は、ヘッジ目的に限定します。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「T&Dハイブリッド証券ファンド限定追加型1405」は、2015年2月20日に第1期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3

お問い合わせ先

投信営業部 03-3434-5544

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<http://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
設 定 日 2014年5月30日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 4,674
1 期 (2015年2月20日)	10,041	50	0.9	99.0	—	8,264

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないことから、比較対象となる適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		
設 定 日 2014年5月30日	円 10,000	% —	% —	% —
5 月 末	10,000	0.0	99.3	—
6 月 末	9,998	△0.0	99.1	—
7 月 末	9,983	△0.2	99.1	—
8 月 末	10,000	0.0	99.2	—
9 月 末	9,852	△1.5	99.2	—
10 月 末	9,874	△1.3	99.5	—
11 月 末	9,910	△0.9	99.8	—
12 月 末	9,894	△1.1	99.4	—
2015年1月 末	10,021	0.2	98.2	—
期 末 2015年2月20日	10,091	0.9	99.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は設定日比。

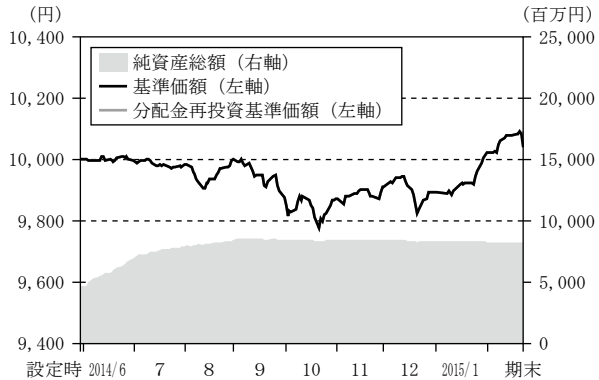
(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないことから、比較対象となる適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：10,041円（既払分配金50円）

騰落率：0.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2014年5月30日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドは自動継続投資コースがないため、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、欧州の銀行に対するストレステストの結果への懸念や、ギリシャ・ウクライナ問題が下落要因となりましたが、ECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和の効果から上昇しました。

■ 投資環境

【ハイブリッド証券市場】

ハイブリッド証券市場は、欧州の一部の銀行の米国における法務関連費用負担やポルトガルの一部の銀行の経営悪化を受けて警戒感が強まり、市場の流動性が低下するなかで、米系信用格付業者等による主要銀行のハイブリッド証券の一斉格下げ、欧州の銀行に対するストレステストの結果発表待ち、ウクライナ問題から神経質な展開が続きました。さらに、原油価格の下落懸念や経済ファンダメンタルズの動向といったマクロ面での不透明要因が再度市場の重しとなり、2014年12月になると、ギリシャの総選挙やユーロ離脱懸念から変動性の高い展開となりました。しかし、2015年1月に入ってECBが量的金融緩和に踏み切ったことにより、ハイブリッド証券を含むリスク資産への需要が高まり、市場の需給は改善しました。

主要国の国債金利は、期を通じてマクロ経済指標の発表や地政学的リスクの動向により方向感のない展開をみせましたが、ECBの量的金融緩和の実施等により低下しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

当ファンドは、期を通じて主要投資対象である「コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券」の組入比率を高位に保ちました。

【コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券】

「コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券」の価格は、「リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド（適格機関投資家専用）」（以下、外国投資信託）の値動きに連動しました。

外国投資信託は、設定以来、世界を代表する銀行および保険会社が発行するハイブリッド証券の組入れを進め、2014年8月末から9月初め頃にポートフォリオの構築をほぼ完了し、それ以降は組入比率を高位に保ちました。組入上位を占めたBarclays、Royal Bank of Scotland、AXAが発行するハイブリッド証券が、プラスに寄与しました。銘柄選択にあたっては、国や通貨、業種（銀行と保険）等分散を図り、2015年1月末時点の組入銘柄数は27銘柄となりました。

＜リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド（適格機関投資家専用）の組入状況＞ 2015年1月末現在

国別組入比率

国	比率
イギリス	36.1%
アメリカ	24.2
フランス	23.8
スペイン	8.4
ドイツ	4.2
イタリア	3.8
現金等	△ 0.4

組入上位10銘柄

	銘柄名	利率	償還日	国	業種	比率
1	ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	7.640%	2017/9/30	イギリス	銀行	6.3%
2	BARCLAYS PLC	8.250	2018/12/15	イギリス	銀行	6.3
3	PRUDENTIAL PLC	5.250	2018/3/23	イギリス	保険	6.2
4	GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.700	2019/5/10	アメリカ	銀行	6.2
5	JPMORGAN CHASE & CO	7.900	2018/4/30	アメリカ	銀行	6.1
6	BANK OF AMERICA CORP	8.125	2018/5/15	アメリカ	銀行	6.1
7	AXA SA	5.500	2019/1/22	フランス	保険	6.1
8	ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	7.092	2017/9/29	イギリス	銀行	5.7
9	SOCIETE GENERALE	8.875	2018/6/16	フランス	銀行	5.4
10	BARCLAYS BANK PLC	6.000	2017/12/15	イギリス	銀行	4.9

業種別組入比率

業種	比率
銀行	76.4
保険	24.0
現金等	△ 0.4

- (注) 比率は、「リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド（適格機関投資家専用）」の純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入状況は、リクソー・アセット・マネジメントS.A.S.より入手した情報をもとに当社が作成したものです。基準価額への反映を考慮して、前営業日の情報を表示しております。
(注) ハイブリッド証券の組入比率は、為替ヘッジに係る借入れ等の影響で100%を超える場合があります。
(注) 繰上償還条項が付与されている銘柄につきましては、繰上償還発効日を償還日に記載しています。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は安定的に分配を行う方針のもと、基準価額水準等を勘案し、50円とさせていただきます。収益分配に充てなかつた利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

当ファンドは、引続き主要投資対象である「コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券」を高位に組入れて運用を行います。

【コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券】

一般的に銀行のバランスシートは健全性が高まっており、ハイブリッド証券の投資家にとってプラスと考えています。

そのようななか、「コデイス-リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券」が連動する「リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド（適格機関投資家専用）」は、世界を代表する銀行および保険会社が発行するハイブリッド証券の組入比率を高位に保つことで、利回りの獲得、信託財産の成長を目指して運用を行います。組入銘柄の価格や信用格付の動き、発行体の株価、クレジット・デフォルト・スワップの水準等を継続してモニタリングします。保有するハイブリッド証券については、償還日等までの保有を基本として運用します。

1万口当たりの費用明細（2014年5月30日から2015年2月20日まで）

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	(2014/5/30~2015/2/20)		
	金額	比率	
平均基準価額	9,948円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	65円	0.656%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(24)	(0.236)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(39)	(0.396)	運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.024)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.013	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	66	0.669	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 担保付債券の発行費用等につきましては時価に反映されております。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2014年5月30日から2015年2月20日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	社 債 券	千円 8,530,825	千円 372,767

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

当期中の主要な売買銘柄 (2014年5月30日から2015年2月20日まで)

公社債

買 付	売 付
銘 柄	銘 柄
金 額	金 額
千円 8,530,825	千円 372,767
コデイス-リクソー・ハイブリッド・ セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券	コデイス-リクソー・ハイブリッド・ セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2014年5月30日から2015年2月20日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2015年2月20日現在)

(A) 国内(邦貨建) 公社債<種類別>

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
普 通 社 債 券	千円 8,146,000 (8,146,000)	千円 8,180,213 (8,180,213)	% 99.0 (99.0)	% 99.0 (99.0)	% — (—)	% 99.0 (99.0)	% — (—)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) BB各以下には無格付けを含みます。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内(邦貨建) 公社債<銘柄別>

区 分	当 期			末	
	銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普 通 社 債 券	コデイス・リクソー・ハイブリッド・ セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券	% —	千円 8,146,000	千円 8,180,213	2019/8/13
合 計	銘 柄 数 金 額	1 銘柄	8,146,000	8,180,213	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2015年2月20日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円 8,180,213		% 97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	184,751		2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	8,364,964		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年2月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,364,964,373円
コール・ローン等	184,751,123
公社債(評価額)	8,180,213,200
未収利息	50
(B) 負 債	100,762,093
未払収益分配金	41,153,558
未払解約金	6,947,128
未払信託報酬	52,158,757
その他未払費用	502,650
(C) 純資産総額(A-B)	8,264,202,280
元 本	8,230,711,638
次期繰越損益金	33,490,642
(D) 受益権総口数	8,230,711,638口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,041円

- (注) 設定時元本額 4,674,112,850円
 期中追加設定元本額 3,955,035,741円
 期中一部解約元本額 398,436,953円
 (注) 1口当たり純資産額は1.0041円です。

損益の状況

当期 自2014年5月30日 至2015年2月20日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	95,052,656円
受 取 利 息	95,052,656
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	35,727,412
売 買 益	38,353,760
売 買 損	△ 2,626,348
(C) 信 託 報 酬 等	△53,207,770
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	77,572,298
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,928,098
(売買損益相当額)	(△ 2,928,098)
(F) 合 計(D+E)	74,644,200
(G) 収 益 分 配 金	△41,153,558
次期繰越損益金(F+G)	33,490,642
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,928,098
(売買損益相当額)	(△ 2,928,098)
分 配 準 備 積 立 金	36,418,740

- (注) 損益の状況の中で
 (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(56,381,249円)および費用控除後の有価証券売買等損益(21,191,049円)より、分配対象収益は77,572,298円(1万口当たり94円)であり、うち41,153,558円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2014年5月30日 ～2015年2月20日
当期分配金	50
(対基準価額比率)	0.495
当期の収益	50
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	44

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

《お知らせ》

平成26年12月1日適用で、委託会社が投資者に対して交付する運用報告書(全体版)について、電子媒体による提供を可能とするよう、約款変更を行いました。

平成26年12月1日適用で、投資信託に関する法令等の改正に伴い、約款変更を行いました。